

日植防協発 第 189号
平成30年7月4日

関 係 各 位

一般社団法人 日本植物防疫協会
理事長 上路雅子
(公 印 省 略)

シンポジウム「転換期にたつ植物防疫」のご案内

日頃より当協会の事業に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当協会では、この度標記シンポジウムを別紙要領により開催することと致しました。

農業競争力強化施策のもと、欧米にならった再評価制度の導入を柱とする農薬取締法改正案がまとまる一方、ジェネリック農薬参入の動きが活発化するなど、病虫害防除に不可欠な農薬をめぐる情勢は大きな転換期を迎えています。このシンポジウムでは、これら関連する内外の動向を知るとともに、今後の植物防疫推進上の課題を考えて参ります。

つきましては、ふるってご参加いただきますようご案内申し上げます。

追って、参加を希望されます場合には別添申込書により期日までに当方にお申し込み下さい。

※この開催案内は当協会ホームページ (<http://www.jppa.or.jp/>) からダウンロードできます。

シンポジウム「転換期にたつ植物防疫」

開催要領

1. 日時：平成30年9月20日（木） 10:00～17:30
2. 場所：日本教育会館「一ツ橋ホール」
東京都千代田区一ツ橋2-6-2 TEL 03（3230）2831
3. 主催：一般社団法人 日本植物防疫協会
4. 趣旨：農業競争力強化施策のもと、欧米にならった再評価制度の導入を柱とする農薬取締法改正案がまとまる一方、ジェネリック農薬参入の動きが活発化するなど、病虫害防除に不可欠な農薬をめぐる情勢は大きな転換期を迎えている。このシンポジウムでは、これら関連する内外の動向を知るとともに、今後の植物防疫推進上の課題を考える。
5. 参集範囲：国及び都道府県の行政・試験研究機関・普及指導機関、独立行政法人、大学、JA、農薬企業、防除機企業および関係団体（定員 800 名）
6. 参加費：無 料
7. プログラム

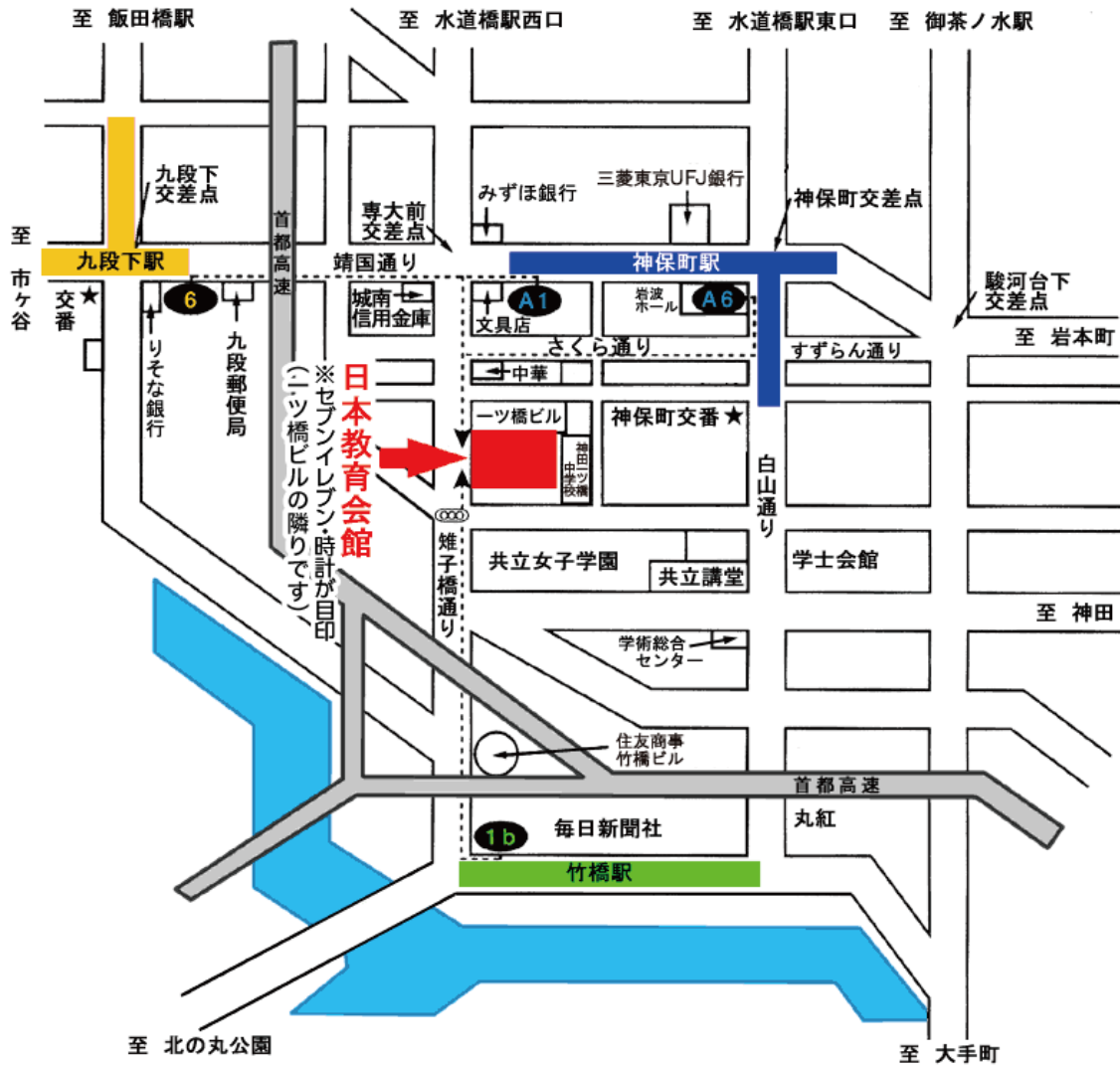
開 会

- (1) 農薬行政の課題と対応方針
農林水産省消費・安全局農薬対策室 古畑 徹 氏
- (2) 農薬環境行政の課題と対応方針
環境省水・大気環境局農薬環境管理室 小笠原 毅輝 氏
- 昼 食 休 憩 —
- (3) 再評価制度と課題
農 薬 工 業 会 横 田 篤 宣 氏
- (4) 海外のジェネリック農薬の現状と我が国における展望
日産化学株式会社 影 島 智 氏
- 休 憩 —
- (5) 生物農薬をめぐる海外の動向と我が国における展望
アリスタライフサイエンス株式会社 里 見 純 氏
- (6) 薬剤の変遷に対応した現場指導と今後
公益社団法人 青森県植物防疫協会 川 嶋 浩 三 氏
- (7) 総合討論

閉 会

会場案内

日本教育会館「一ツ橋ホール」 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 Tel. 03(3230)2831
 (道案内専用電話 03-3230-2833)



- 都営新宿線、都営三田線、東京メトロ半蔵門線神保町駅（A1出口）から徒歩3分
- 東京メトロ東西線竹橋駅（北の丸公園側出口）から徒歩5分
- 東京メトロ東西線九段下駅（6番出口）から徒歩7分
- JR 総武線水道橋駅（西口出口）から徒歩15分

シンポジウム「転換期にたつ植物防疫」 参加申込書

8月30日〆切

(期日前でも定員になり次第締め切らせていただきます。)

■一般社団法人日本植物防疫協会 支援事業部あて

FAX 03-5980-6753

所属機関名	ご氏名	備考

必ずしも所属機関や県単位でまとめてお申し込みいただく必要はありません。
万一定員超過により申込をお受けできない場合は折り返しご連絡致します。

申し込み代表者

所 属

氏 名

TEL